

算数オンライン塾 10月18日の問題 解説

(解説)

(1)

小学生の数を【1】とすると中学生の数は【1】+3になります。

最初の配り方だと小学生に6本配りかつ36本と $2 \times 3 = 6$ 本があまるのと同じですから

$【1】 \times 6 + 6 + 36 = 【6】 + 42$ が鉛筆の数になります。

次の配り方だと小学生に9本配り、かつ $3 \times 3 = 9$ 本必要で、3本不足するのと同じですから

$【1】 \times 9 + 9 - 3 = 【9】 + 6$ が鉛筆の数になります。

$【6】 + 42 = 【9】 + 6$ より $【3】 = 36$ $【1】 = 12$ 人が小学生の人数です。

(答え) 12人

(2)

$12 \times 6 + 42 = 72 + 42 = 114$

(答え) 114本

(3) 鉛筆の数は114本、中学生15人 小学生12人です。

小学生一人に配る本数をA、中学生一人に配る本数をBとすると

$$A \times 12 + B \times 15 = 114$$

$A \times 12$ の1の位が4にならないといけないので $A = 2$ か $A = 7$

$A = 2$ のとき $B = 6$ $A = 7$ のとき $B = 2$

(答え) 中学生6本 小学生2本 もしくは 中学生2本 小学生7本